

第5回 企業技術説明会 発表技術一覧

No.	技術名称	使用可能な工事	技術概要	開発会社	備考
1	浸透固化処理工法	液状化対策、土圧低減、吸出防止	液状化が予想される砂質地盤に対して、溶液型の恒久薬液を低圧力で浸透注入することにより地盤を低強度固化し、液状化を防止する地盤改良工法です。周辺への影響が少ない低圧力での注入であるため、施設を供用しながら、構造物直下の液状化対策を実施することができます。	五洋建設株式会社	
2	吸出防止目地材 RF型目地材	岸壁、護岸工事の裏込・裏埋工の目地材、吸出し防止材	本技術は岸壁や護岸の裏込裏埋工に用いる吸出防止材で、ゴムに繊維を積層埋設した構造です。本体の片側固定が可能で裏込施工前は波を港内に逃し裏込施工後は背面外力で本体が押され目地部を覆う材料です。従来より耐圧性、耐久性、追随性等の向上に期待できます。	シバタ工業株式会社、国土交通省 四国地方整備局、独立行政法人港湾空港技術研究所	
3	コンクリート保水養生テープ	水中等粘着剤での貼り付けに問題の無い全てのコンクリート面	本技術は、全面粘着剤が塗布された養生テープです。従来は、散水やシート等で養生していたが、水分の蒸発が十分に抑制できなかつたり、安定した養生状態を確保できませんでした。本テープを貼ることにより、保水性が向上し十分な養生が確保されてコンクリート内部、特に表層部での水和反応が理想的に行われるので初期強度が高く発現し、表面の緻密化による中性化防止や塩害対策等の効果があります。	住友スリーエム株式会社	
4	グラウンドアンカー耐震補強技術	港湾護岸の耐震補強、構造物の転倒浮上り防止	グラウンドアンカーは、地中にグラウトによって造成する定着部と地表付近の構造物を、高強度の引張材で連結させ、引張力を利用して安定させる基礎工法です。斜面安定・構造物の転倒浮上り防止・仮設山留めなど、土木建築分野で広く利用されています。近年では、横浜港・宮崎港・神戸港の護岸ケーソンや金沢港・仙台港での矢板護岸といった、各地の港湾護岸の耐震補強にも適用されています。	社団法人 日本アンカー協会	
5	ESR工法 (自走式土質改良機による土質改良技術)	建設発生土(残土・浚渫土砂等)の土質改良工事	自走式土質改良機を用いた建設発生土の土質改良について、事前調査による現場条件の把握、現場条件と配合設計による使用固化材の選定と添加量の決定、自走式土質改良機による固化材混合、改良土を用いた土工事の施工管理を一貫して行う技術。	新潟県土質改良事業協同組合	
6	ケーソン据付時の施工管理システム	ケーソンの据付作業	港湾や漁港における防波堤や係船岸などの築造工事においては、函体を浮揚曳航して所定位置に沈設する函体据付工事が数多く行われています。ケーソン沈設の際の据付精度や安全性の確保、中詰材投入時にケーソン隔壁に偏土圧を与えない様に適切な投入管理をすることを目的とした施工管理システムです。	株式会社 本間組 株式会社 ソーキ	